

かんでんクラシック・スペシャル
オペラへの誘い^{いざな}2011
G.ロッシーニ

歌劇「セビリヤの理髪師」

●全2幕●イタリア語・字幕付●上演予定時間:第1幕約100分/休憩20分/第2幕約60分

身分を隠したアルマヴィーヴァ伯爵と評判の美しい娘ロジーナ
ふたりの恋の行く手に立ちふさがる娘の後見人は医師/バルトロ
その厳しい監視の目を盗んで恋の仲立ちをするなんでも屋の理髪師フィガロ

粋でおしゃれな恋の駆け引き 虚々実々の知恵比べ
ロッシーニの名を不滅にした楽しいオペラ・ブッフア(軽歌劇)の名作

Gioachino Rossini: Il Barbiere di Siviglia



■主な登場人物

アルマヴィーヴァ伯爵: 竹内直紀
医師バルトロ: 雁木 悟
美しい娘ロジーナ: 福永修子
理髪師フィガロ: 細川 勝
音楽教師バジリオ: 伊藤 正
伯爵の従者フィオレツォ: 福嶋 勲
バルトロ家の下男アンブロージョ: 角地正直
バルトロ家の家政婦ベルタ: 安本佳苗

■主な楽曲

序曲(管弦楽) ■ 空はほほえみ(伯爵) ■ 私は町のなんでも屋(フィガロ) ■ 今の歌声は(ロジーナ) ■ 陰口はそよ風のように(バジリオ) ■ 私のような医者に向かって(バルトロ) ■ あなたに平安と喜びがありますように(二重唱:伯爵とバルトロ) ■ お前がそばにいる時は(バルトロ) ■ お年寄りはお様を持ちたがる(ベルタ) ■ ああ、思いがけないこの喜び(三重唱:フィガロ、伯爵、ロジーナ)

■指揮: 末廣 誠 ■管弦楽: 大阪フィルハーモニー交響楽団 ■合唱: 関西二期会

3/3木 3/4金 18:30 開演 | 大阪市北区大淀南
21:30 終演予定 | ザ・シンフォニーホール

抽選で各日ペア400組800名様(2日間計1,600名様)を無料ご招待

- お問い合わせ/TEL.06-7501-0317 関西電力「オペラへの誘い^{いざな}」係(受付時間 平日9時~17時。3月4日まで。)
- 応募方法/ハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・希望公演日(3日・4日のいずれか1日)をご記入のうえ、お申し込みください。
- 宛先/〒550-8790 郵便事業(株)大阪西支店 私書箱181号 関西電力「オペラへの誘い2011」係
*関西電力のホームページ(<http://www.kepco.co.jp>)からも応募いただけます。
- 締切/2011年1月25日(火)必着
- 当選発表/厳正なる抽選のうえ、ペア座席引換券の発送をもって発表にかえさせていただきます。

*ご応募いただいた個人情報、本コンサートに関する目的以外には使用いたしません。
*応募後の希望公演日の変更はできません。*満6歳未満のお子様の来場は、ご遠慮ください。
*応募の受付・受理のお問い合わせに対してはお答えできませんので予めご了承ください。
*応募いただきましたハガキは返却できません。(往復ハガキでの応募は受け付けておりません。)
*お客さまの住所が不明などで引換券をお届けできない場合は、当選を無効とさせていただきます。

関西電力 関西電力共済会館



かんでんクラシック・スペシャル オペラへの誘い2011

G.Rossini: Il Barbiere di Siviglia
ロッシーニ: 歌劇「セビリヤの理髪師」

かんでんクラシック・スペシャルは

今年で22回目の公演をむかえることとなりました。

今回は、ザ・シンフォニーホールの舞台上、

ロッシーニの歌劇「セビリヤの理髪師」を上演いたします。

セビリヤの町の人気者、理髪師フィガロの助けを借りて、

若き日のアルマヴィーヴァ伯爵が、伯爵夫人ロジーナと結ばれるまで、

名匠ロッシーニの流麗な音楽に乗せて

テンポの早いコミカルなドラマが展開します。

みなさまからの多数のご応募を、心よりお待ちしております。

関西電力 関西電力共済会館

指揮: 末廣 誠

鹿児島県生まれ。鹿児島大学卒業及び桐朋学園大学修了。指揮を秋山和慶、堤俊作、H.レーグナー各氏に師事。1981年、鹿児島オペラ協会10周年記念公演において、石井敏作曲オペラ『カントミ』の初演を指揮、1987年銀座にオープンした銀座セゾン劇場の柿澤しんにおいて、M.コンスタン作曲、P.ブルック演出の『カルメンの悲劇』を50日間にわたり指揮し、世界各国から招かれた歌手や、コンスタン氏自身より絶賛される。1989年、東京青山劇場においてR.コルサコフ作曲オペラ『サルタン王の物語』日本初演の訳詞及び指揮を担当し、高い評価を受ける。以後角地のオペラ公演を多く手がけ、数多い作品のレパートリーを誇っている。またバレエ公演も手がけ日本初演した作品も多く、舞台作品における技量は各階から厚い信頼を得ている。



1990年ハンガリー・ニーレージュハーザ市においてサボルチ交響楽団を指揮、同年旧東ドイツ・ワイマール市で開催された国際セミナーに参加。H.レーグナー氏のもとで研鑽を積み、最終コンサートにおいてイエナー・フィルハーモニー管弦楽団を指揮、チューリンガー・アルグマイネ紙に「真にプロフェッショナルな指揮者」と絶賛される。1991年、ポーランド・カトヴィツェ市で開催された第4回フィッテルベルク国際指揮者コンクールにおいて優勝、第1位ゴールドメダルとオーケストラ特別賞を併せて受賞する。翌年より、ポーランド国立放送交響楽団をはじめとする各地のオーケストラに招かれ、クラコフ放送交響楽団の首席客演指揮者に就任。また国立シニヤ歌劇場において『トスカ』を指揮してヨーロッパにおけるオペラデビューを果たし、以後定期客演指揮者として多くの作品を指揮し、常に高い評価を得ている。1999年、ジャズピアノの巨匠チック・コリア氏と共演、同氏より絶大な信頼を寄せられる。帰国後、群馬交響楽団指揮者を経て、1995年から1999年まで札幌交響楽団指揮者を務め、以後多岐にわたる活動が続いている。高いレベルの演奏を引き出す着実な手腕は、常に信頼と評価を得ており、今後の活動が期待されている。また、曲目解説等の執筆活動も盛んに行っており、その軽妙な切り口の文章は評判を得る一方、演奏会の司会、企画等にもその才能は遺憾なく発揮されている。2007年12月、レッスンの友社よりエッセー「マエストロ・ベンのお茶にしませんか?」を刊行。東邦音楽大学特任准教授を務める。

管弦楽: 大阪フィルハーモニー交響楽団



1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で生まれ、1950年社団法人化、1960年に改組、現在の名称になった。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。2003年4月、大植英次が音楽監督に就任。またこれまでに、遠山信二、外山雄三、若杉弘、秋山和慶、手塚幸紀、大友直人等、名指揮者達と専属契約を結んだほか、内外の一流音楽家と共演。「定期演奏会」はザ・シンフォニーホールで、年10回、毎回2公演開催している。また大阪以外の全国各地の文化振興にも貢献しており、数回にわたるヨーロッパ、カナダ、アメリカ、韓国、台湾での演奏旅行では各地で絶賛を博した。レコーディング活動も活発で、日本で一番多録音、CDを発表しているオーケストラである。

アルマヴィーヴァ伯爵: 竹内直紀



東京都立芸術大学音楽学部管打専攻専修卒業。卒業後声楽に転向、同大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。第4回万里の長城国際音楽コンクール第1位、第1回エルビス声楽コンクール第1位。第17回宝塚バガコンクール入賞、オペラでは『魔笛』タミーノ、『チェネレントラ』ラミーロ、『ドン・パスクワーレ』エルネスト、『ルサルカ』王子、『蝶々夫人』ピンカートン、『リコレット』マントヴァ公爵等に出演。幅広いレパートリーでコミカルな役から二枚目までを演じ、歌曲の分野においてもコンサートなど積極的に出演している。宗教曲ではモーツァルト『レクイエム』ハイドン、『メサイヤ』ベートーヴェン「第九」等のソリストも務める。関西二期会準会員。

医師バルトロ: 雁木 悟



大阪音楽大学声楽科卒業。関西二期会オペラは『リコレット』のチェブラーノ伯爵、『ラインの黄金』のドンナー、『ファルスタッフ』のピストーラ、『フィガロの結婚』のフィガロ、『ナクス島のアリアドネ』のかつら師、『セビリヤの理髪師』のバルトロ等に出演。その他では『フィガロの結婚』のアントニオ、『ドン・ジョヴァンニ』のレボレロ、マゼット、『後宮からの逃走』オスミン、『カルメン』のエスカミーリオ、『ラ・ボエーム』のショナル、『トスカ』のアンジェロツェイ、『ドン・カルロ』修道僧等に出演。また『領事』『三文オペラ』『若狭姫』『小栗栖の長兵衛』『イワイさまおじやったか』など、現代の作品や創作物にも意欲的に取り組んでいる。関西二期会会員。

美しい娘ロジーナ: 福永修子



大阪音楽大学声楽科次席卒業。'89年アメリカデビュー。'90年より渡独、バイエルン国立歌劇場にて研鑽を積む。『セビリヤの理髪師』『ランメルモールのルチア』『後宮からの逃走』『フィガロの結婚』『椿姫』『こもり』『カルメン』『魔笛』『バタ・クラム』(日本初演)、『天守物語』(関西初演)『ポッペアの戴冠』『魔弾の射手』『愛の妙薬』等に出演。また、兵庫県立芸術文化センター佐渡裕プロデュースオペラ『魔笛』『バグナーナ』『ヘンゼルとグレーテル』『グレートン』等、いずれも指揮者・演出家から絶大な信頼を得て絶賛を博す。華やかな舞台姿に加え、高音域のコーラトゥーラを駆使する確かな歌唱力に定評がある。平成17年度兵庫県芸術奨励賞受賞。関西二期会会員。

理髪師フィガロ: 細川 勝



大阪音楽大学卒業。第11回摂津音楽祭銅賞受賞。『ポッペアの戴冠』『フィガロの結婚』『ラ・ボエーム』『セビリヤの理髪師』『椿姫』『蝶々夫人』『カルメン』『マリツァ伯爵夫人』『こもり』『泥棒とオールドミス』『メリー・ウイドウ』『秘密の結婚』等、他、『曾根崎心中』九平次、『国姓爺合戦』和藤内(国姓爺鄭成功)、『若き日の道鏡』良弁、『よみがえる』カムロ、『祝い歌が流れる夜に』博、『仁徳』オオサザキノミコ(仁徳)、『シャーロック・ホームズの事件簿一告白』シャーロック・ホームズ等邦人作曲家作品にも積極的に出演している。また『美女と野獣』ガストン、『レ・ミゼラブル』ジャベール等のミュージカルにも出演。ジャンルを問わない歌唱力と演技力には定評がある。関西二期会会員。

音楽教師バジリオ: 伊藤 正



大阪音楽大学卒業。同大学院修了。1982年度文化庁国内研修員。1983年よりイタリア・ミラノに留学しヴェルディ音楽院卒業。1984年度国際ロータリー財団奨学生。在伊中ミラノ・グローヴオペラテレビ局制作の『フィガロの結婚』にフィガロ役で出演。1992年ベルガモ・ドニゼッティ劇場において『ブルスキニー』のハウデンツィオ役で出演。帰国後、『フィガロの結婚』『コジ・ファン・トゥッテ』『魔笛』『ヘンゼルとグレーテル』『椿姫』『ラ・ボエーム』などに出演。また大阪フィルハーモニー交響楽団定期演奏会において『フィガロ』『ペールギュント』に出演した。1991年度フランス音楽コンクール声楽第2位受賞。関西二期会会員。

伯爵の従者フィオレツコ: 福嶋 勲



大阪音楽大学卒業。和歌山音楽コンクール第1位、日本クラシック音楽コンクール関西本選1位などの第2位、同コンクール全国大会入選、全日本学生音楽コンクール大阪大会第2位。摂津音楽祭奨励賞、神戸新人音楽賞優秀賞等を受賞。『フィガロの結婚』バルトロ、『パステリアン』パステリアン、『魔法使い』『ヘンゼルとグレーテル』父親、『ジャンニ・スキッキ』スピネロツチョ、アマンティオ、『電話』のベン、『アメリカ舞踏会へ行く』の夫などのほか、実験オムバスオペラ『英雄達のクライマックス』『幻色道成寺』『鬼打ち猿丸』など創作オペラやミュージカルに数多く出演。神戸市混声合唱団団員、関西二期会会員。

バルトロ家の下男アンブロジーノ: 角地 正直



大阪音楽大学卒業。同大学新人演奏会に出演。在学中より在阪オペラ団体を中心に40以上のオペラに出演。02年春よりオーストラリア、クイーンズランド音楽院グリフィス大学に学び、Master of Music Studies 修了。約4年のオーストラリア滞在で3度のリサイタル、シドニーにおいてマスタークラスに参加、また在オーストラリア日本総領事館において天皇誕生日祝賀会に招かれエキジションに出演。これからの活躍が期待される逸材である。日仏音楽コンクール第3位入賞。第12回太陽カンツォーネ・コンクール第1位優勝。関西二期会では『ルクリア』の男性語り手に出演した。関西二期会準会員。

バルトロ家の家政婦ベルタ: 安本 佳苗



同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽専攻卒業。同志社女子大学音楽学会《嬢啓会》特別専修生修了。関西二期会室内オペラ『ポッペアの戴冠』で美徳の神、『テイレシアスの乳房』で新聞売りの女、関西二期会オペラ『魔笛』の童子、びわ湖の夏・オペラセンター『ジプシー男爵』のミラベッラ、『もうひとつのカルメン』ではカルメン等に出演。シューベルトのミサ曲やヘンデルのメサイアなど宗教曲のアルト・ソロで出演。中村千恵子、今城淳行、中村利男の各氏に師事。関西二期会会員。